

令和6年2月2日

小名浜港セミナーin東京

小名浜港 コンテナサービス



福島県小名浜港利用促進協議会

Utilization and Promotion Council for Onahama Port of Fukushima Prefecture

- **小名浜港について**
- **小名浜港 コンテナ航路紹介**
- **福島県のコンテナ貨物 港湾別利用状況**
- **小名浜港の有効利活用について**
(トラックドライバー労働時間削減/Co2排出削減/BCP)
- **小名浜港助成制度の紹介**
- **小名浜港コンテナサービスの強み**

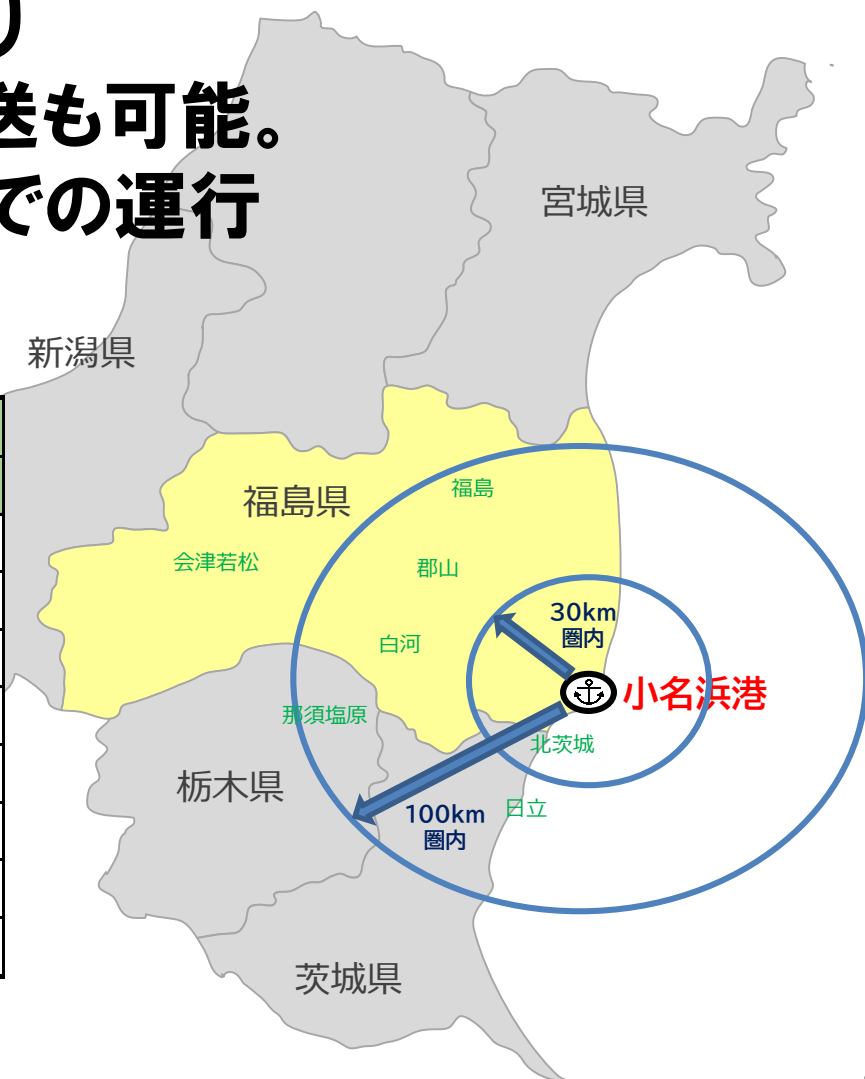
小名浜港について 小名浜港からの距離

**小名浜港は福島県内はもとより
栃木県・茨城県の北部への配送も可能。
2024年問題の時間外制限内での運行
が可能な位置関係です。**

県	市	小名浜港		東京港		横浜港	
		往復距離	所要時間	往復距離	所要時間	往復距離	所要時間
福島県	いわき市	20km	1時間	460km	10時間	500km	12時間
	白河市	180km	4時間	440km	9時間	480km	11時間
	郡山市	170km	4時間	520km	11時間	560km	13時間
	福島市	260km	6時間	620km	13時間	660km	15時間
	会津若松市	300km	7時間	660km	15時間	700km	16時間
茨城県	北茨城市	60km	2時間	380km	7時間	420km	9時間
	日立市	130km	3時間	330km	6時間	370km	8時間
栃木県	那須塩原市	220km	5時間	400km	8時間	440km	10時間

※往復距離及び時間は弊社計算方法によります。

※所要時間は休憩・待機時間 交通事情を含まない純粋走行時間



小名浜港について ターミナルの位置

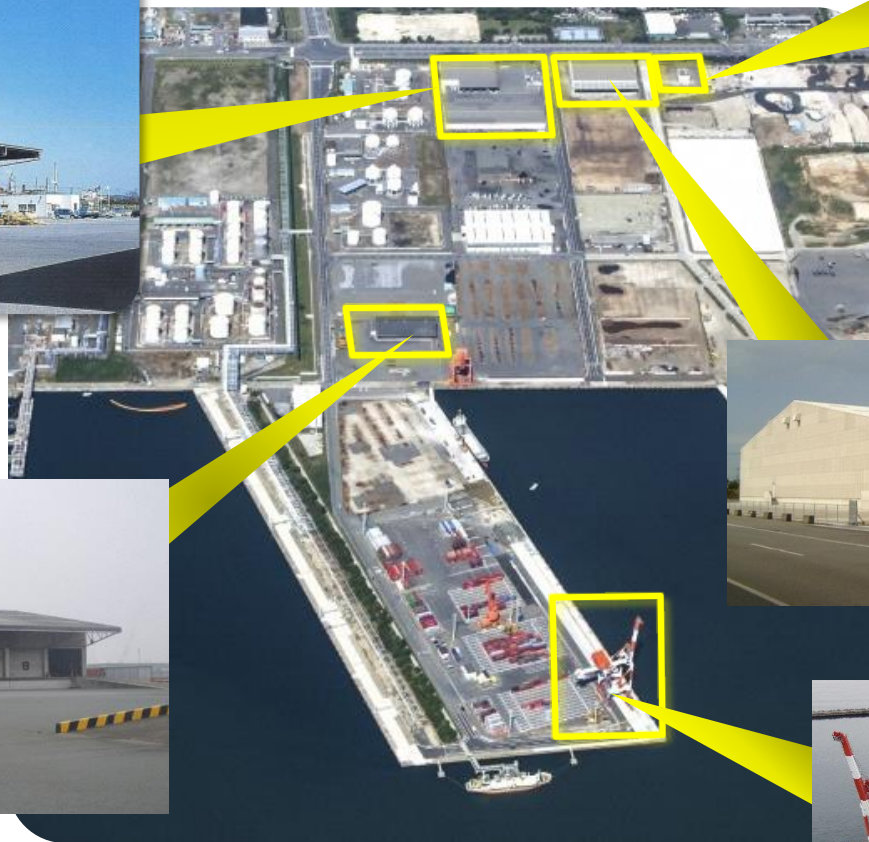


小名浜港について コンテナターミナル関連施設

■小名浜港物流センター
(面積: 1号棟3124.8㎡、2号棟5472.0㎡)
Onahama Port Physical Distribution Center



■小名浜港くん蒸上屋 (面積: 165.0㎡)
Onahama Port Fumigation shed



■大剣コンテナフレートステーション (面積: 1590.0㎡)
Otsurugi container Freight Station



■藤原コンテナフレートステーション (面積: 4168.2㎡)
Fujiwara container Freight Station



■ガントリークレーン
11列/5段対応

2024年4月
新設ガントリークレーン運用開始

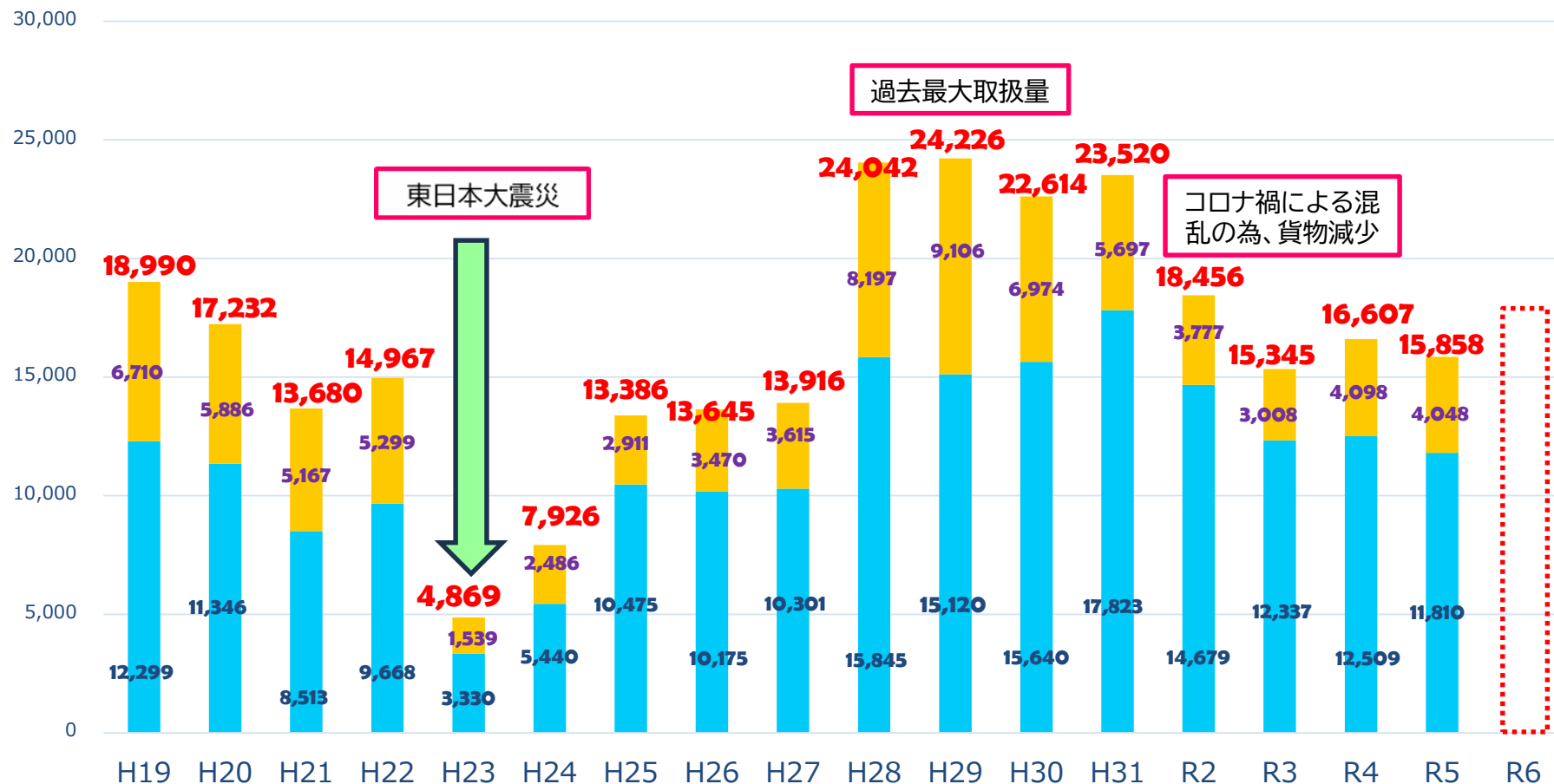


小名浜港について 取扱実績の推移

取扱貨物量推移

(単位：TEU)

■ 輸移入 ■ 輸移出



※単位の「TEU」は、20フィートで換算したコンテナ個数を表す単位のことです。コンテナ1本あたり、20フィートは「1TEU」、40フィートは「2TEU」で換算します。

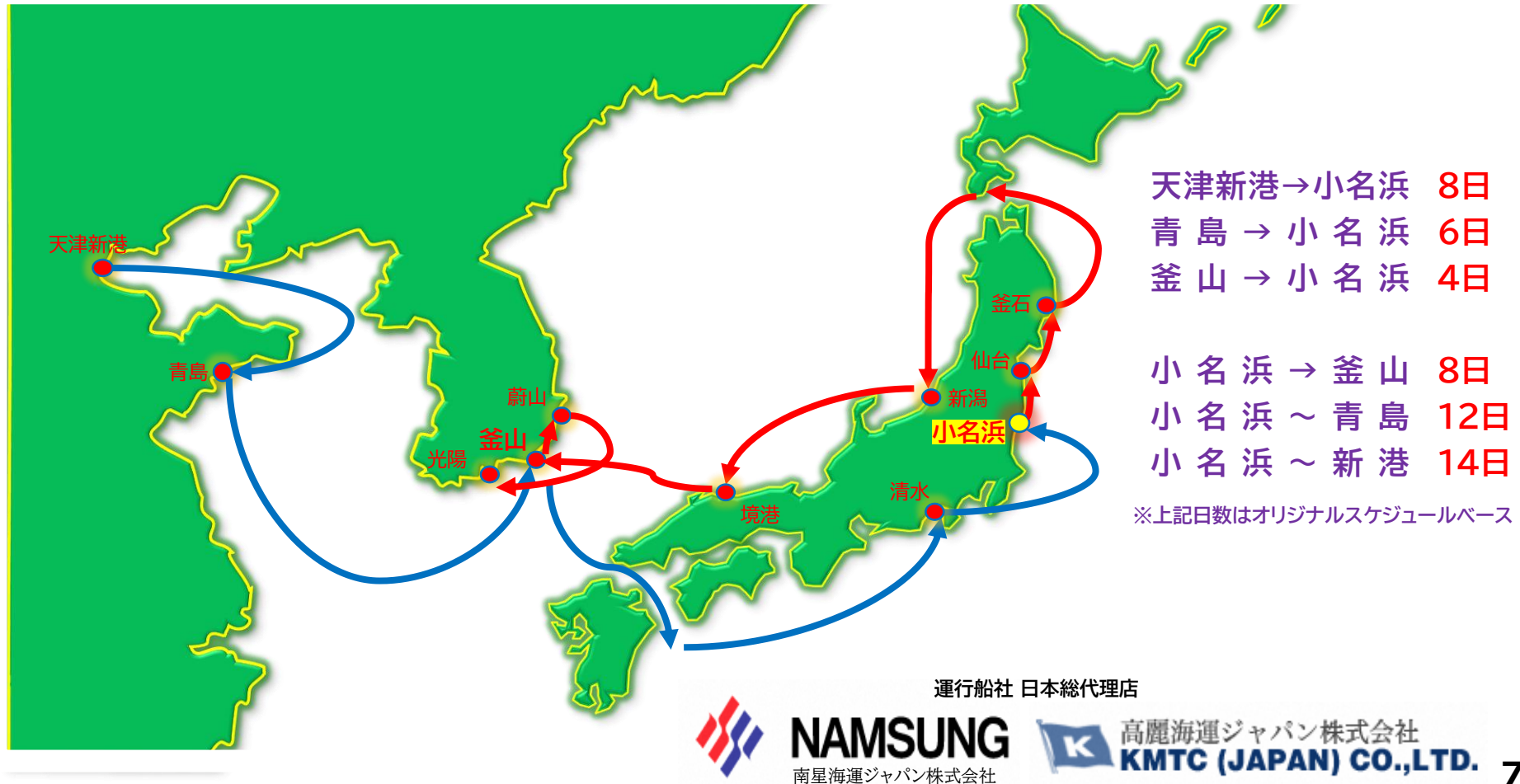
※上記グラフは、各年の1月～12月までの数量を表記しております。



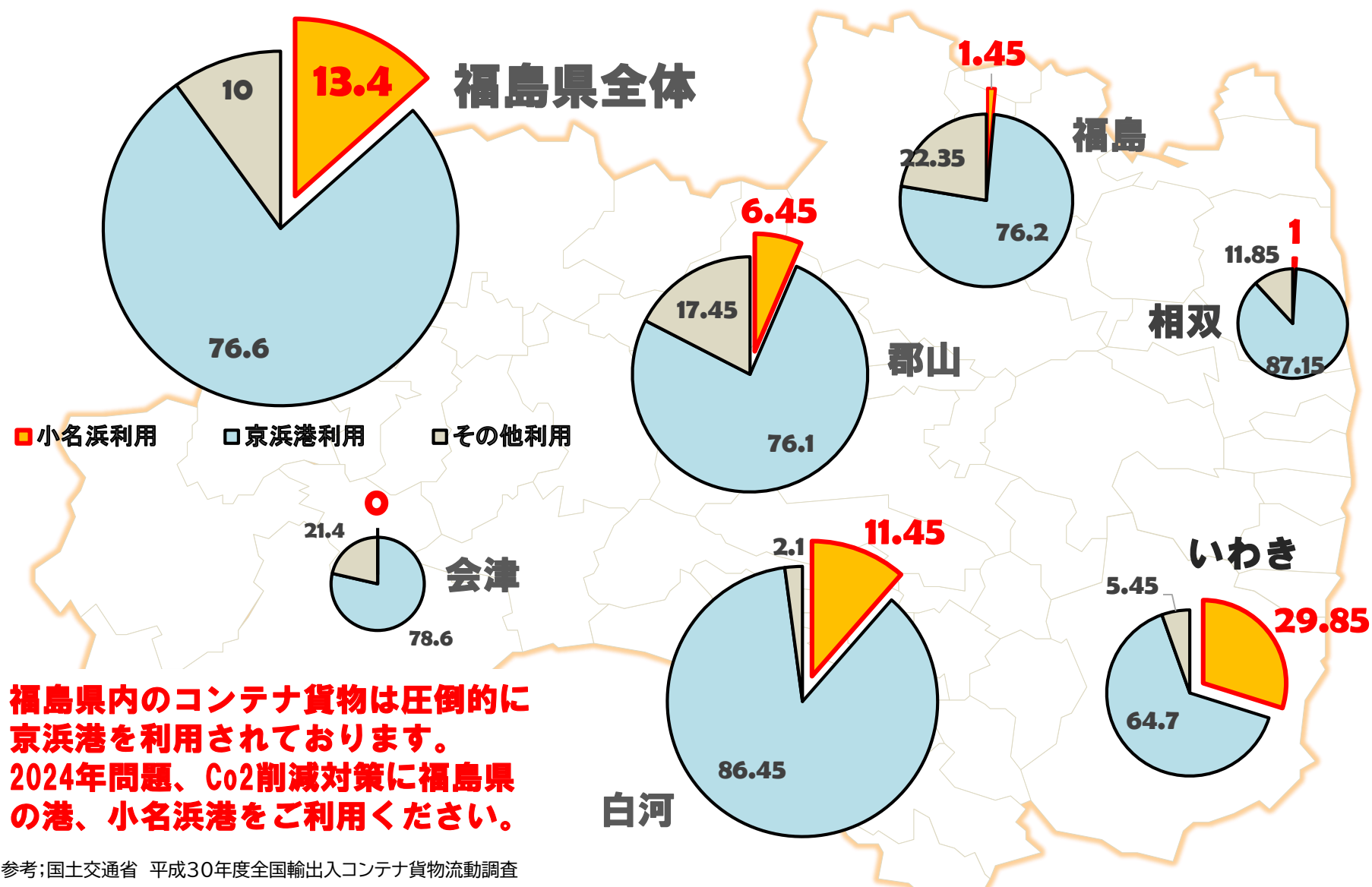
小名浜港コンテナ航路紹介

●韓国・中国航路(天津新港/青島 直行サービス) 毎週月曜予定

航路：天津新港～青島～釜山～清水～**小名浜**～仙台～釜石～新潟～境港～釜山～蔚山～光陽



福島県のコンテナ貨物 港湾別利用状況



小名浜港の有効利活用① 運送業界2024年問題対策

トラック運送業界における働き方改革の影響回避策

2024年度から、運送業界の働き方改革による時間外労働の上限規制が適用開始

- ・ 時間外労働時間の上限規制
- ・ 月60時間超の時間外労働の割増賃金引き上げ
- ・ 同一労働 同一賃金

長距離輸送におけるトラックの確保が困難となる予想

過労運転への荷主の関与が判明すると荷主名が公表されるケースも…

東京港・横浜港利用の場合の影響

● 長距離輸送の車両絶対数が減少となる

ドライバーの運転時間が制限されるため、月内運行日数の調整が必要となりこれまでと比較し減少する。

● 復路の高速道路利用頻度が高まる

運転時間を短縮する手段として、復路の高速道路使用が必要となった場合は、荷主様の負担増となる可能性が高まる。

小名浜港利用の場合

短距離輸送の条件によりトラック業界における働き方改革の影響が軽微

小名浜港の有効利活用② Co2排出削減対策



納入先	京浜港	小名浜	削減量
郡山市	59.82ト	22.43ト	62%減 37.39ト
白河市	49.85ト	21.19ト	57%減 28.66ト

※計算は国交省・経産省公開の計算式(改良トンコ法)を使用

※20F(貨物重量20t)を年間100コンテナ配送した場合の排出量

CO2の排出量削減に貢献

10



福島県小名浜港利用促進協議会

Utilization and Promotion Council for Onahama Port of Fukushima Prefecture

小名浜港の有効利活用③ BCP バックアップ港として

※BCPとは、災害や事故の発生により企業活動が寸断される事態になった際に、重要業務への影響を最小限に抑制し、早期復旧を行うための行動計画、経営方針のことを指します。

特定の港に貨物を集中させると、有事の際に物流混乱、生産の低下・停止等に繋がるリスク

災害

(地震・風水害等)



事故

(火災・テロ攻撃等)



感染症流行



大規模イベント



小名浜港の代替港としての優位性

交通アクセス

高速道路・幹線道路・鉄道等、交通網が充実している。

倉庫の確保

周辺に倉庫を手配しやすいため、緊急時に迅速な貨物手配が可能。

温暖な気候

東北地方だが、冬でも暖かく降雪がほとんどない。

混雑がない

周辺道路の渋滞がほとんどなく、コンテナヤード内での待ち時間も少ない。

助成金

1TEUの利用から助成金の対象となるため、トライアルでも利用しやすい。

小名浜港助成制度(2023年度)

小名浜港では、コンテナ航路を利用して貨物の輸出入を行った荷主に対して、助成制度を拡充しております。

制度内容

助成区分	対象	助成額	上限
新規利用荷主	小名浜港を新たに利用した荷主	輸入:10,000円/TEU 輸出:20,000円/TEU	50TEU (最大1,000,000円)
新規利用大口荷主	上記のうち200TEU以上利用した荷主	上記の助成額に 一律1,000,000円を加算	
継続利用荷主	小名浜港を利用した荷主	輸入:5,000円/TEU 輸出:10,000円/TEU	50TEU (最大500,000円)
利用拡大荷主	上記のうち前年度実績と比較して 100TEU以上増加させて荷主	上記の助成額に 一律200,000円を加算	

注意事項

- 対象期間(2023年4月1日～2024年3月31日)
- 期間中でも予算に達した時点で終了となります(先着順)。
- 制度の詳細はHPをご覧ください。

小名浜港利用促進協議会

検索



12



福島県小名浜港利用促進協議会

Utilization and Promotion Council for Onomichi Port of Fukushima Prefecture

小名浜港コンテナサービスの強み

渋滞のないスムーズなコンテナ
ヤードと充実した道路・交通ネット
ワークによりお客様のニーズに
あわせた配送が可能

新潟県

宮城県

福島市

南相馬市

1台2往復
輸送が可能

郡山市

福島県

郡山/白河方面であれば
1台で2往復輸送が可能

いわき市内であれば
4往復輸送が可能

更なるコストダウン、
CO2削減にも有効的

※諸条件があります

白河市

80km

いわき市内

30km

1台4往復
輸送が可能

栃木県

ご清聴ありがとうございました 小名浜港を宜しくお願い致します！

【小名浜港に関するお問い合わせ先】

○港湾施設等に関する事

福島県小名浜港湾建設事務所（港営課） 電話：0246-53-7124

○福島県小名浜港利用促進協議会や助成制度に関する事

いわき市産業振興部 産業みらい課 電話：0246-22-1162

